

東北新幹線での架線垂下・復旧作業中の感電事故、横須賀線東京トンネルにおけるコンクリート片の落下、東北新幹線郡山駅構内におけるオーバーラン等数カ月間に重大事故が相次ぎ、安全対策は喫緊の課題だ!

申
35
号



横浜線中山駅構内で発生した 墜落死亡事故 に関する申し入れ

3月13日 提出!

申し入れ項目

1. 横浜線中山駅で発生した墜落死亡事故について、作業実態、作業環境、経過、時系列を明らかにすること。また繰り返し発生している労働災害について、工事発注責任者であるJR東日本として再発防止対策を責任もって行うこと。
2. 今申し入れに対する回答は2024年3月31日までにを行うこと。また、団体交渉は2024年4月15日までに実施すること。

ルールの再徹底や改定のみで、事故防止を図ることは困難!

“職場現実における管理上の問題”、“教育体制”、“習熟度”

“工期”、“予算”、“労働環境”など多角的な視点から、

原因に至る背後要因を掴み出し、再発防止策を講じることが重要だ!

多発する事故は組織事故であることを自覚し、原因究明とその裏にある背後要因から目を逸らさず、具体的な対策を打ち出していくことが求められている!